

☆チーム紹介

私達のチームは、新人9人+先輩1人の9人で構成しています。短期間でしたが、9名に加えてOB・OGの方のご協力もあり、開発モデル作成と実装を計画通り終えることができました。

チーム名は、当社で代々受け継がれてきた伝統ある名称です。OBの方々の実績に恥じることのないモデルと走行を披露しますので、ご期待ください！！

☆組込み、そしてモデリングの未来へ一言

今後も身近な電子製品から社会インフラを支えるような大規模の製品まで多岐にわたり組込みシステムは活用されるでしょう。

そのような製品を開発する上で、我々技術者は実装ありきの開発ではなく、モデルにより要求からシームレスに開発していく技術が必要になると考えています。

☆コンテストにかける意気込み、アピール

目標：「リザルトタイム -30秒を達成する」
地区大会で仕様未確定エリアⅡのバーコード読み取りに失敗した反省から、目標を更に高く掲げ細分化した走行タイム目標を設定しました。この目標達成が優勝へのルートです。

CS大会で総合優勝を勝ち取ります！！！！

☆モデルの概要

P1では、**要求仕様から、制御戦略、要素技術、ソフトウェア構造へのトレーサビリティをモデル化**しました。P2~P5では、各詳細について具体的に展開しています。

P1.要求分析	・目標に対する要求、機能の仕様化 ・下流へのトレーサビリティの明確化
P2.構造設計	・要求仕様実現のソフトウェア構造設計
P3.振る舞い設計	・機能(ユースケース)毎の振る舞い設計 ・仕様未確定エリアⅡ 攻略の振る舞い
P4.制御戦略	・リスクを対策する各区間での制御戦略 ・制御戦略を実現する要素技術の選択
P5.要素技術	・制御戦略を実現させる要素技術を考案

☆設計思想

リザルトタイムの目標達成のために必要な要求や機能の仕様化を行い、それを基に制御戦略、要素技術を検討してソフトウェア構造までつなげています。そして目標達成の設計検証が可能なモデルになりました。

☆モデルのここに注目！

P1「**要件定義+戦略トレーサビリティマトリクス**」の作成に最も注力しました。要求分析モデルにより、要求仕様に対する制御戦略や要素技術、ソフトウェア設計における各実現方式が見えるので、ぜひご注目下さい。